

News Release

生活者のくらしとお金の疑問や不安にFP(ファイナンシャル・プランナー)が答える
無料電話相談「くらしとお金のホットライン」7月10日(土)実施！！

通年実施の電話相談「FP 広報センター」と対面相談「くらしとお金の FP 相談室」の結果、
平成 21 年度は「ライフプラン」に関する相談が急増！

特定非営利活動法人(NPO 法人)日本ファイナンシャル・プランナーズ協会(略称:日本 FP 協会 理事長 加藤寛)は、電話相談の増加する夏のボーナス時期に合わせた生活者支援として、CFP®認定者(日本FP協会認定 FP 上級資格保有者)が生活者のくらしとお金の疑問や不安に答える、無料電話相談「くらしとお金のホットライン」を、本年7月10日(土)に実施します。

日本FP協会では、平成11年より「FP 広報センター」において電話相談(フリーダイヤル:0120-211-748、平日 10:00~16:00)の窓口を常設し、生活者からのくらしとお金に関する相談に直接お答えしています。しかし、最近の生活者を取り巻く厳しい経済状況を鑑み、CFP®認定者による臨時の土曜電話相談「くらしとお金のホットライン」を、昨年12月5日(土)に初めて実施しました。その結果、過半数が住宅ローンや生涯生活設計といった「ライフプラン」に関する相談でした。

6月からの「子ども手当」の支給開始や、今夏のボーナス支給額が前年より改善される兆しがあるなど、明るいニュースがあるものの、子ども手当は将来に備えた貯蓄や日々の生活費に充てられたり、住宅ローンの返済が困難など、依然として厳しい家計状況が相談内容からうかがえます。そこで、夏のボーナス支給時には住宅ローン返済や家計収支の見直しといった相談の増加が予想されるため、臨時土曜電話相談の実施を決定しました。

「くらしとお金のホットライン」実施概要

開設日時 : 平成 22 年 7 月 10 日(土) 午前 9 時~午後 4 時
電話番号 : 0120-211-748 (フリーダイヤル:通話料無料)
相談受付 : CFP®認定者(日本 FP 協会認定 FP 上級資格保有者)

※個別具体的な内容や税務・法律に関するご相談はお答えできないものもあります。
個別の金融商品等の推奨はいたしません。
※FPは、生活者ひとりひとりの夢をかなえるための、いわば「家計のホームドクター®」です。



※写真は平成21年12月開催時

なお、日本FP協会が年間を通じ実施している電話相談「FP 広報センター」の平成21年度の相談件数は1,304件で、全体の半数以上がライフプランに関する相談でした。また、日本FP協会の本部事務所(東京)と大阪事務所で実施している対面相談「くらしとお金の FP 相談室」(予約制)の平成21年度の総相談数は426組で、生涯生活設計の立て方や考え方、保険の見直し、家計収支の見直しなどが上位と、電話相談同様、日々の生活・家計に密着した相談が多い結果となりました。

平成21年度の「FP 広報センター(電話相談)」、「くらしとお金の FP 相談室(対面相談)」、「くらしとお金のホットライン(臨時土曜電話相談)」の相談結果は別紙をご参照ください。

◆本件のご取材・内容に関するお問合せ先

| 担当 | 日本FP協会 広報部広報課 平岡・田淵 | TEL | 03-5403-9749 | FAX | 03-5403-9795 | E-mail | info@jafp.or.jp |
|----|------------------------|-----|--------------|-----|--------------|--------|-----------------|
|----|------------------------|-----|--------------|-----|--------------|--------|-----------------|

※CFP®、AFP®、CERTIFIED FINANCIAL PLANNER®、およびサーティファイド ファイナンシャル プランナー®は、米国外においては Financial Planning Standards Board Ltd.(FPSB)の登録商標で、FPSB とのライセンス契約の下に、日本国内においては NPO 法人日本 FP 協会が商標の使用を認めています。
※AFFILIATED FINANCIAL PLANNER®、アフィリエイトド ファイナンシャル プランナー®は、NPO 法人日本FP協会の登録商標です。
※家計のホームドクター®は NPO 法人日本FP協会の登録商標です。

<平成21年度「FP 広報センター電話相談」結果>

◆総相談件数:1,304 件(平成21年4月から平成22年3月まで累計)

電話相談では、住宅ローンや年金、老後に関する悩みなどの「ライフプラン」に関する相談が、平成20年度に比べて281件増加してトップでした。昨年度の世界的な金融不安を背景にした金融商品の選び方などの相談よりも、住宅ローンの返済が困難を極めているなど、家計の改善を具体化する内容が圧倒的に多い結果となりました。

◆相談内容ランキング

平成21年度「FP 広報センター電話相談」
1,304 件の相談内容種類別一覧

| 順位 | 相談テーマ | 件数 |
|----|----------|------|
| 1 | ライフプラン | 759件 |
| 2 | 金融資産運用設計 | 216件 |
| 3 | 保険 | 146件 |
| 4 | 相続・贈与 | 71件 |
| 5 | 不動産 | 51件 |
| 6 | 税金 | 40件 |
| 7 | その他 | 21件 |

合計 1,304件

上位3位の相談詳細内容

| 相談テーマ | 第1位 | 第2位 | 第3位 |
|----------|-------------|-----------|-------------|
| ライフプラン | 住宅ローン(472件) | 年金(75件) | 生涯生活設計(74件) |
| 金融資産運用設計 | 投資信託(74件) | 資産運用(44件) | 金融機関(30件) |
| 保険 | 生命保険(98件) | 医療保険(31件) | 保険会社(7件) |

<参考>

平成20年度「FP 広報センター電話相談」
1,309 件の相談内容種類別一覧

| 順位 | 相談テーマ | 件数 |
|----|----------|------|
| 1 | 金融資産運用設計 | 478件 |
| 2 | ライフプラン | 399件 |
| 3 | 保険 | 208件 |
| 4 | 税金 | 71件 |
| 5 | 相続・贈与 | 67件 |
| 6 | 不動産 | 51件 |
| 7 | その他 | 35件 |

合計 1,309件



※相談イメージ

◆平成21年度の主な相談内容と相談に答えたCFP®認定者のコメント

□最も多かった「ライフプラン」に関する主な相談内容

・返済負担軽減のための住宅ローンの借り換えについて

□CFP®認定者のコメント

ご相談者の中には、借入中の住宅ローン金利が高く「もったいないので」借り換えしたいという相談もありましたが、多くの方は想定外の収入減やライフプランの変更で住宅ローン返済が家計に重く押し掛かっているという切実な相談でした。

電話相談を利用されることで、まず実行するべきことと問題に対する考え方がわかり、不安が軽減されるだけでなく、人生の長い時間軸を基に物事を考える大切さを知っていただけたと思います。ぜひご活用ください。

「FP広報センター」(電話相談)とは

受付電話番号:0120-211-748

受付時間:平日10:00~16:00まで

相談スタッフ:日本FP協会の会員であるCFP®認定者(上級FP資格保有者)6名が当番制で1名常駐

相談料:無料

ホームページ:<http://www.jafp.or.jp/consult/kouhou.shtml>

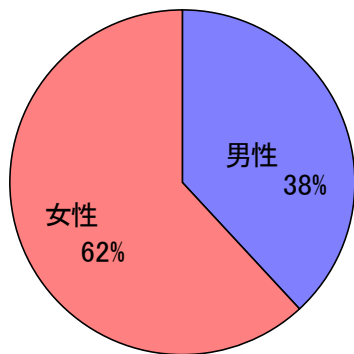
<平成21年度「くらしとお金のFP相談室」結果>

◆総相談数:426組(平成21年4月から平成22年3月まで累計)

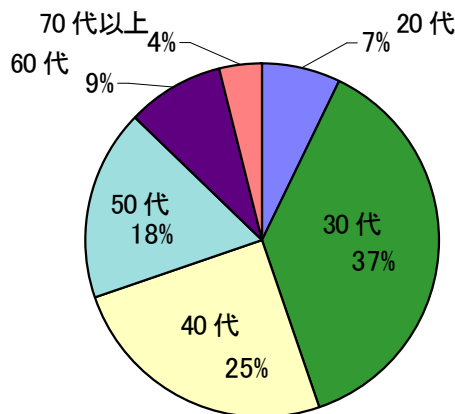
対面相談は新型インフルエンザの影響で平成20年度から76組減少しました。電話相談と同じく、住宅ローンの返済、保険の見直しなど、家計の改善や生活設計の立て方といった、将来の生活不安に関する相談が多い結果となりました。

◆男女別相談数:男性160名、女性266名

相談者属性(男女別)



相談者属性(年代別)



◆相談内容ランキング(平成21年4月から平成22年3月まで累計)

平成21年度「くらしとお金のFP相談室」

426組の相談内容種類別一覧

| 順位 | 相談テーマ | 件数 |
|----|----------------|------|
| 1 | 生涯生活設計の立て方や考え方 | 119件 |
| 2 | 保険の見直し | 112件 |
| 3 | 住宅ローン返済見直し | 81件 |
| 4 | 家計収支の見直し | 80件 |
| 5 | 住宅ローン新規借入 | 78件 |
| 6 | 金融資産運用設計 | 76件 |
| 7 | リタイアメントプラン | 70件 |
| 8 | 教育資金 | 43件 |
| 9 | 保険の新規加入 | 40件 |
| 10 | 不動産運用設計 | 24件 |
| 11 | 相続・贈与 | 18件 |
| | 年金 | 18件 |

合計 759件

※相談者一人で複数のテーマを相談されるケースがあるため、件数合計は426件を超えています。

<参考>平成20年度「くらしとお金のFP相談室」

502組の相談内容種類別一覧

| 順位 | 相談テーマ | 件数 |
|----|----------------|------|
| 1 | 保険の見直し | 140件 |
| 2 | 生涯生活設計の立て方や考え方 | 136件 |
| 3 | 家計収支の見直し | 116件 |
| 4 | 金融資産運用設計 | 112件 |
| 5 | 住宅ローン返済見直し | 109件 |
| 6 | 住宅ローン新規借入 | 73件 |
| 7 | 教育資金 | 58件 |
| | リタイアメントプラン | 58件 |
| 9 | 保険の新規加入 | 23件 |
| 10 | 年金 | 20件 |
| 11 | 相続・贈与 | 15件 |
| 12 | 不動産運用設計 | 13件 |

合計 873件

※相談者一人で複数のテーマを相談されるケースがあるため、件数合計は502件を超えています。

◆相談者による相談後のコメント(感想)

- ・中立的な立場からアドバイスいただけて、非常にありがたかった。
- ・自分自身がまず最初に行うべき事を明確にさせていただいたことが一番の喜びです。
- ・一番の問題点を指摘していただけたのが、具体的な改善につながりそうで助かりました。
- ・一人で考えていてもよく分からなかったことが、FPに話すことにより明確になりました。
- ・キャッシュフロー表を作成していただき、将来のお金の見通しについて参考になりました。
- ・八方塞がりの状態から、別の道を開いていただき安心しました。

「くらしとお金のFP相談室」(対面相談)とは

日本FP協会の本部事務所(東京)、大阪事務所で開催するくらしやお金に関する無料の体験相談です。日本FP協会の会員であるCFP®認定者(上級FP資格保有者)が、生活者を対象に50分間(1回限り)の相談を行います。お申込方法は電話による予約制で、東京は毎週火曜日、木曜日、土曜日に各3組、大阪は毎週火曜日、第1・第3土曜日に各3組の相談を受け付けています。ホームページ: http://www.jafp.or.jp/consult/kurashi_fp/

<平成21年12月5日(土)実施「くらしとお金のホットライン」相談結果>

◆相談件数:38件

◆相談内容ランキング

38件の相談テーマ別一覧

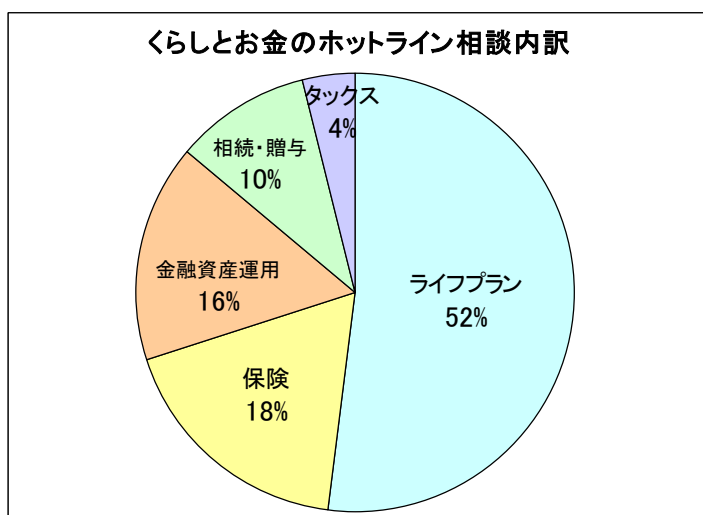
| 順位 | 相談テーマ | 件数 |
|----|--------|----|
| 1 | ライフプラン | 26 |
| 2 | 保険 | 9 |
| 3 | 金融資産運用 | 8 |
| 4 | 相続・贈与 | 5 |
| 5 | タックス | 2 |
| 6 | 不動産 | 0 |

合計 50件

上位3位の相談詳細内容

| 相談テーマ | 第1位 | 第2位 | 第3位 |
|--------|------------|----------|------------|
| ライフプラン | 住宅ローン(14件) | 老後(4件) | 生涯生活設計(3件) |
| 保険 | 生命保険(7件) | 医療保険(2件) | — |
| 金融資産運用 | 資産運用(4件) | 投資信託(2件) | 株/債券(1件) |

※相談者一人で複数のテーマを相談されるケースがあるため、件数合計は38件を超えています。



世界が認めるFPの頂点 CFP®資格

CFP®資格は、世界23カ国・地域(平成21年7月現在)で導入されている、「世界が認めるプロFPの証」です。認定要件の「4E(教育=Education、試験=Examination、経験=Experience、倫理=Ethics)」と、実務プロセス指針であるファイナンシャル・プランニング・プロセスの「6ステップ」のコンセプトに基づき、世界で認められた共通水準のファイナンシャル・プランニング・サービスを提供できる証明です。CFP®認定者は、高度な知識とスキルをもって長期的かつ総合的な視点で適切なアドバイスをし、他のFPの規範となる確固たる職業倫理を身につけているプロフェッショナルとしてCFP®資格を認定されています。国内ではNPO法人日本FP協会だけが資格認定できる「FPの頂点」とも言える資格です。CFP®認定者は、日本FP協会のホームページから検索いただけます。 <https://www.jafp.or.jp/cfp/agreement.htm>

「くらしとお金」に関する相談事例 (FP 広報センターなどより)

<家計管理>

昨年住宅を購入しましたが、毎月の家計の収支が赤字となってしまいました。現在は貯蓄を取り崩していますが、その貯蓄も長くは続きません。今後どのようにしたら家計の収支が改善するのでしょうか。

<老後の生活設計>

子どもたちは独立し、夫婦ふたりで暮らしていますが、この先が不安です。将来、子どもの世話になりたくないのに、施設に入ることを検討したいのですが、いくらぐらいかかるのでしょうか。

<住宅ローンの組み方>

住宅を購入したいと思っています。現在の収入と貯蓄から、どれくらいを自己資金に充てても大丈夫でしょうか。また、返済期間や返済プランなど、住宅ローンの組み方はどうしたらよいのでしょうか。

<住宅ローンの返済>

年2回のボーナス返済を組み、月々の住宅ローン返済額を抑えていましたが、今年はボーナス額が減り、返済が苦しくなっています。これからどうしたらよいのでしょうか。

<生命保険>

医療保険に加入したいのですが、保障内容、保険期間や保険料などの違いで色々なプランがあり、どう選べばよいかわかりません。

<金融商品>

共働きで子どもがいない今のうちに、今回支給されたボーナスをもとに少しでも貯蓄を増やしておきたいのですが、商品の選び方をどうしたらよいのでしょうか。

<子どもの教育費>

高校生と中学生の子どもがいます。家計のプラスになるよう、パートもしていますが、これから教育費の負担が大きくなりそうで不安です。